

# 令和5年度 ダイバーシティ就労モデル事業 報告書

ユニバーサル就労ネットワークちば

# ダイバーシティ就労モデル事業とは



・働きづらさがあるものの、障害者手帳や障害福祉サービス受給者証を持っていない人でも障害福祉サービス(就労移行支援・就労継続A型/B型)を利用して、就労や就労体験を行うモデル事業

・日本財団助成、千葉県補助事業

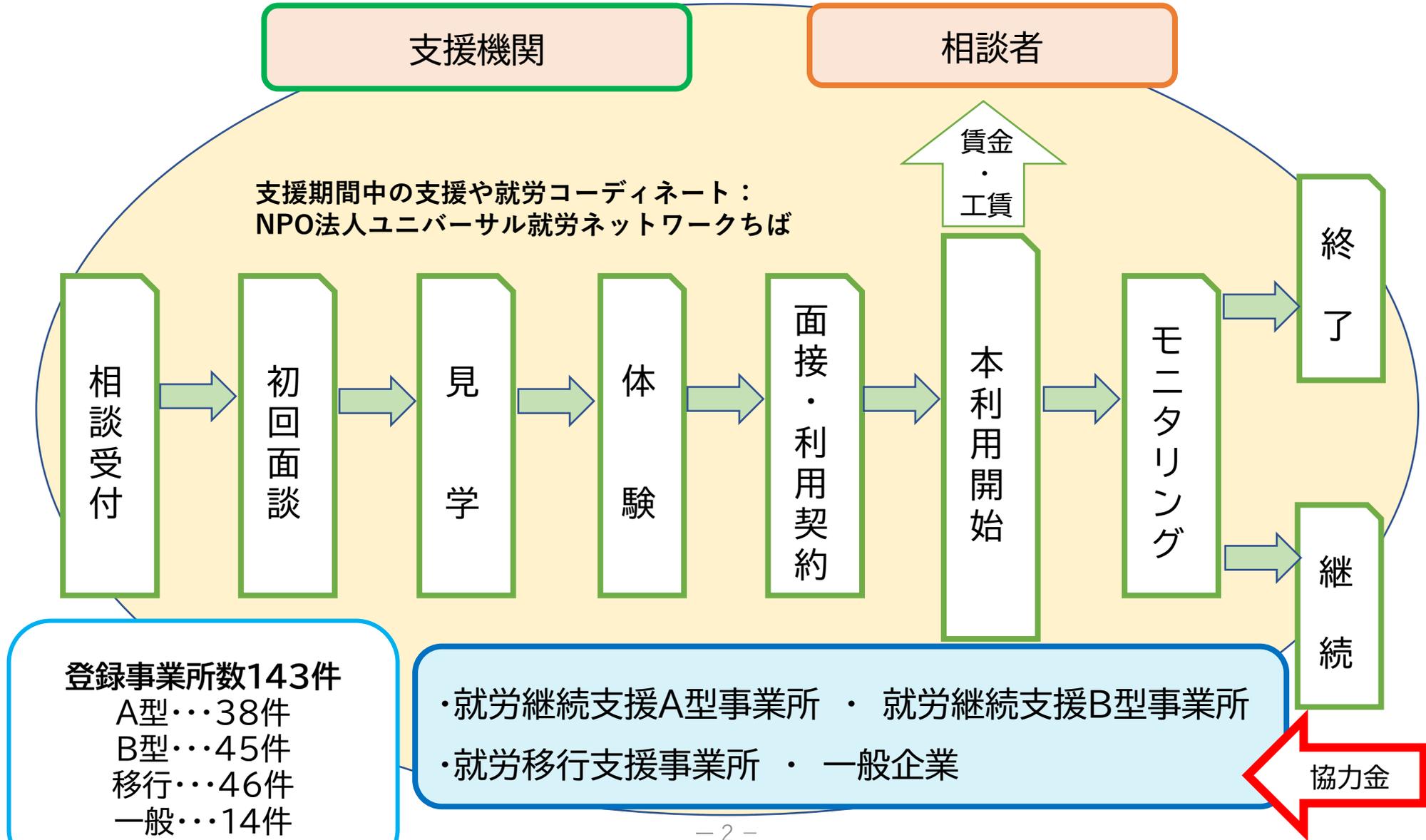
・令和4年9月モデル事業開始

福岡県・岐阜市、同時期開始

令和5年度から豊田市がモデル事業開始

令和6年度・・・

# 事業のイメージ図



## □連携支援機関

生活困窮者自立相談支援機関

中核地域生活支援センター

地域若者サポートステーション

被保護就労支援機関

障害者基幹相談支援センター

千葉県ひきこもり地域支援センター

千葉県子ども・若者総合相談センターLink

就労移行支援事業所

就労継続支援A型

就労継続支援B型

行政・障害窓口

学校

ハローワーク

## ◇◆◇ 利用された事業所の声 ◇◆◇

- 能力が比較的高く、作業範囲が大きく広がった
- 他利用者が刺激され、作業姿勢が格段に向上
- 事業所としてプラスになることばかり。
- 困ったことはほとんどない。
- 今後も受け入れを続けたい
- 受け入れた方を採用することもあります
- 受入先が増え、働くきっかけを得る場が多くなることは良いことだと思います

# 千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク 生活困窮者自立支援窓口の相談員より

❖千葉県では、もうすでに「新たな社会資源というモデル事業」ではなく、千葉県に定着した「**既存の社会資源としての存在**」に。

⇒これを「**続けること**」が制度の狭間を埋める大きな役割を持つ存在に。

→「**無くなること**」が社会の仕組みを無くすことになる。

一度無くなると、もう生まれてこなくなる可能性が強い。

❖生活困窮の有無に関わらず、「**分野横断的な就労支援**」としての存在であることが、今後大きな意味を持つ！

# ダイバーシティ就労支援地域ネットワーク協議会

## 【令和5年度開催日】

- 令和5年8月29日
- 令和5年12月21日
- 令和6年3月19日

## 【主な協議事項】

- 実績報告および振り返り
- 利用期間、協力金について
- 具体的な就労支援、課題整理、既存制度の活用
- 認定就労訓練事業、トライアル雇用助成金、特定求職者雇用開発助成金
- 千葉県中小企業家同友会とのネットワーク 等

## 【協議会メンバー】

- 千葉県健康福祉政策課
- 千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク
- 生活困窮者自立支援機関
- 千葉県中核地域生活支援センター
- ハローワーク千葉
- 地域若者サポートステーション
- 障害者就業・生活支援センター
- 就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型事業所
- 協力企業
- 市町村関係機関 等

# ダイバーシティ就労モデル事業実践報告会を開催！

## 【開催日】

日時 令和6年3月19日

場所 千葉市文化センター

## 【参加者数】

54名(登壇者・スタッフ含む)

主なプログラム	登壇者
【実績報告】 成果と課題	ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長 島田将太／相談員 嶺千鶴子
【実践報告】 ①就労継続支援B型事業所での実践 ②就労移行支援事業所での実践 ③就労移行支援事業所での実践 ④一般企業での受入れ報告	①M氏、就労継続B型(勝浦市) ②S氏、就労移行(船橋市) ③Y氏、就労移行(鎌ヶ谷市) ④O氏、一般企業(成田市)
関係機関からのメッセージ	千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク 就労支援部会 吉井 稔氏
「多様な働き方の充実に向けた就労支援制度と今後の動き(仮)」	厚生労働省 社会・援護局 生活困窮者自立支援室 就労支援専門官 鈴木 由美氏
ダイバーシティ就労モデル事業後に向けた検討とビジョン	ユニバーサル就労ネットワークちば 副理事長 平田 智子

## 参加者の感想（一部）

●手帳が無い事で就労サポートを十分に受けられず断念してしまう方は一定数いらっしゃいます。ダイバーシティ就労は素晴らしい制度であると感じていますので、今後も継続し関係機関で力を合わせトータルサポート出来る様になることを望みます。

●利用条件に無い、様々な方々に、行き場所とやり甲斐と、習慣化して楽になってもらい、安心して自立していけるように、潜んでいるニーズをたくさん表出していただけたら、嬉しいです。

